

とっとり 県議会だより

令和7年2月定例会
(2025)

No.052

Feb.

2月
議会

主な記事 Contents

代表質問……………2~3p
一般質問……………4~7p
常任委員会活動……………8p
議決結果……………9~11p
特別委員会……………12p
お知らせ……………12p



とっとり産業未来フェス メイン会場の様子



燃料電池自動車カットモデルの展示



宇宙産業技術の展示



トランスフォームロボットの展示

2月定例会の概要 (2月20日～3月24日)

開会日の2月20日に、平井知事から、総額3,650億円余の令和7年度鳥取県一般会計予算案など69議案が提案されました。また3月11日に、国の令和7年度予算案修正に対応した令和7年度鳥取県一般会計補正予算(第1号)など17議案が追加提案されました。

代表質問は鳥取県議会自由民主党と鳥取県議会民主とっとりが行い、一般質問には23名の議員が登壇。県政の諸課題について知事らと活発な議論を展開しました。

議決の状況

【知事提出議案】

◎予算議案 ……《可決31件》 ◎条例議案 ……《可決24件》
◎人事議案 ……《同意16件》 ◎その他議案 ……《可決・承認15件》

【議員提出議案】

◎条例 ……《可決5件》 ◎会議規則 ……《可決1件》
◎意見書 ……《可決1件 否決2件》

【陳情】 ……《不採択3件》

表紙の写真

とっとり産業 未来フェス

令和7年2月7日・8日の2日間にわたり、県内外の優れた技術や製品等を広く扱う総合産業発信イベント「とっとり産業未来フェス」が開催されました。

県内ものづくり企業の技術・製品の展示やダンスステージなど、さまざまな技術・産業の交流の場として賑わいました。

★議員別の賛否の状況は、10、11ページでご覧いただけます。

代表質問

鳥取県議会自由民主党



福田 俊史 議員
選挙区 八頭郡

鳥取からの日本創生

問 石破政権は「地方創生2.0」を「令和の日本列島改造」として実行する決意を示した。新たな地方創生に対し、どう期待しているか。

答 家族や地域の人々と絆を結ぶ「鳥取型の幸せ」を目指すことが、石破総理が言う楽しい日本だと思ふ。また、地方創生2.0には「広域リージョン」という新しい言葉もあるが、既に関西広域連合などで府県同士が協力し、活力の創出に取り組んでいる。さらに、若者や女性が強調されていることから、各世代が楽しんで暮らせるふささつくりを考えていく。

問 今任期中に、将来を見据えてどのような点に注力されるか。

答 若者の意見を県政に反映させ

るようタスクフォースを立ち上げたほか、選挙でのいわゆる「2馬力選挙」という問題も他の知事と協力してアピールしてきた。地方自治や民主主義を守り、また、若者や女性が暮らしやすい社会の実現に向け、ベクトルを大きく変える。ほかに、移住定住を増やす対策も大きな課題だ。

地方を守る

問 台湾への直行便が5月に就航する。これを契機として台湾との交流をどう進めていくのか。

答 地方レベルの地域間交流は活発であり、学校同士の交流も生まれている。初便では台湾の観光関係者が多く来県されるため、ビジネスも含めた交流を進め台湾直行便を育てていきたい。

問 人口減により買物環境の確保や地域公共交通の維持が困難になると予想される。対症療法でなく、より一歩踏み込んだ対策が必要と考えるがどうか。

答 人口減少下で買い物環境などは維持しづらく、抜本的な解決も

非常に困難。様々な主体が協力し合い、持続可能な場を作っていくことがこれからの主眼と考える。過疎先進県でもあるため、課題解決の先進県として今後を展望したい。

問 農業生産1千億円達成プランなどをどう展開していくのか。

答 技術や経験に頼らず農業に新規参入できるよう、スマート農業を推進するモデル事業に着手するほか、新たな種雄牛の造成を目指すなど、いろいろな取組に挑戦していく。

未来を守る

問 県民参画型の県民立美術館の開館を目前に控え、年間来館者10万人の目標の実現に向けた知事の意気込みを伺う。

答 3分の2を無料ゾーンとして、本当の公共施設の美術館というコンセプトで運営していく。障がい者や高齢者向けの鑑賞時間も設け、色々な方が鑑賞しやすくなる取組も検討している。

問 高校の魅力化の取組をどう評価しているか。また、今後の議論をどう進めていくのか。

答 (教育長) 低学年にも体験入学を広げるなど、高校の魅力化をPRしてきており、企業と協力してスーパードキターなどの育成に取り

組めているのも取組の大きな成果と考える。今後、特に中山間地域の学校については、その地域にとってなくてはならない高校のあり方を議論し、ふるさとキャリア教育の成果にもつなげていきたい。

暮らしを守る

問 本県で開催された「ねんりんピック」の大会レガシーを生かした地域づくりを進め、健康寿命を延ばし、あらゆる世代が希望を持てる鳥取県の実現に必要なと考えるが、どう取り組むか。

答 大切なのは健康づくり。フレイル対策事業も強化し、高齢者が健やかに年を重ねられるよう、地域の環境を整えていきたい。

県民を守る

問 山陰道と山陰近畿道をつなぐ通称「南北線」は、災害発生時には現実性の高い緊急輸送路となり、県土の強靱化にも寄与する。整備に向けた現状はどうか。

答 令和2年に国から素案が示されて以降、停滞していた。関係者と様々な交渉を重ね、都市計画手続を前進させられるめどが立った。できる限り円滑に都市計画決定に向けた手続きを進めていきたい。早ければ年内にも出口にたどり着けると思ふ。

代表質問

鳥取県議会民主とっとり



村上泰二朗 議員
選挙区
西伯郡



これからの高速道路整備

問 米子―境港間の高規格道路は今が正念場。計画段階評価に向けた手応えは。

答 一定の手応えがある。必要性については以前と変わってきた国の答えになっている。令和6年度内にもう1回国に対して要請活動をして、何とか令和7年度の箇所づけ獲得につなげていきたい。

問 江府三次道路はどんな形でも全線開通を目指していくべきと思うが、未事業化区間への思いは。

答 5期目の公約に地元意見に基づいて江府三次道路の進捗を図ると書いた。独立した自動車専用道を地元が切望している状況でもないので、現道改良等により江府三次道路の進捗を図っている。

子育て王国と通りの進展

問 給食費の無償化に向けて市町村との交渉状況は。

答 市町村とかんかんがくがく議論したが、あつたほうがいいというものの、本当は国全体でやるべきというのがそろっている。令和8年度から小学校から無償化するという国会の取りまとめを見てフォローしていく。

問 全国で急速に子育て政策の大切さが認識されて進む中で、鳥取県が埋もれてしまっているのではないかと危惧している。

答 国の子育ての政策がどんどん進んでくるときに、では我々は次の一手をどうするかというのをシン・子育て王国として今後また丁寧に市町村と協議を進めていきたい。他の地域を一步、二歩リードしながらぜひ鳥取は住みやすい、育てやすいとアピールできるようにしていければと思う。

鳥取県の基幹産業

問 県民所得を向上させていくために、基幹産業をいま一度再考し

ていくことが極めて大切だと思う。観光や宇宙産業、医工連携やITなど、鳥取県はこれでやっていくということを示していくのも知事のリーダーとしての役割であり、方向を示していただければ。

答 以前の液晶産業を中心とした方針を、それぞれの産業を応援する形に切り替えた。ニッチな産業でも大切に将来伸び行くものを育てていく。航空系産業や食品系、部品産業や半導体など、産業や経済の動きに併せて産業誘導する。

分散型県庁の実現

問 国の動きから先行して鳥取県庁も分散をして、中山間地域を含む県全体へと広げ、八頭に生活環境部、日野郡に福祉保健部や教育委員会、米子市に商工労働部、境港市に危機管理部を置く、こんなことを考えてはいかがか。

答 この時代だから、場所ですべて縛られるものではなく、円滑に機能する県庁にする様々な工夫を今後展開していきたい。

日野高校の学級減

問 日野高校の学級減の案が示された。日野高校は2学級、結果的に少人数学級で、課題解決できる生徒を育てる教育方針、地元の熱意ある支援により、魅力ある高校

として学校の存続へ向けて努力している。この学級減は学校の魅力の減退につながり強く反対する。教育機関が中山間地域にある意味を考えて知事の所見は。

答 地方行政委員会としての教育委員会の独立性を尊重する。

教育の諸課題への対応

問 昨年教員採用数が予定数から大きく不足した。今年の辞退数などの程度採用できる見込みなのか。

答 (教育長) 現時点では不明。

問 不登校も増えており、フリースクールに第2の教育機関の役割が大きくなっている。支援体制のこれからの取組は。また、いじめ被害者は全額無料化すべき。

答 授業料助成、通学費助成などフルセットでやっているのは、全国でも鳥取県ぐらい。急速にフリースクールが増えて新年度、16、17校になる。連携して子どもたちの育ちを支えたい。いじめ被害者だけを特別に支援するのではなく、平等に支援すべき。

問 学校現場に山積する課題に対して校長と教頭の学校経営力が大切であり、学校経営力を高めるべく専門職として教育行政職を導入するべきでは。

答 (教育長) 子どもたちの教育が充実するよう努めてまいりたい。

一般質問

会派正式名称

【自由民主党】

鳥取県議会自由民主党

【民主とっとり】

鳥取県議会民主とっとり

【公明党】

公明党鳥取県議会議員団

答弁者説明

答弁者は、記載のものとは知事（各部長、警察本部長は知事の部局ではないため、別に表記した。）

2月定例会では、23人の議員が一般質問を行いました。本紙では、各議員の質問の中から、質問と答弁の要旨を掲載します。なお、議事録の全文は、県議会ホームページからご覧になれます。※掲載に時間がかかる場合があります。

鳥取県議会

検索



興治 英夫
議員



選挙区 倉吉市
会派 民主とっとり

新しい学びと教員働き方、厚生病院老朽対策

問 ①自由進度学習（※1）など新しい授業の取入れ、子どもの非認知能力（※2）の向上、倉吉市の授業時数を減らし不登校対策や授業改善にあてる取組等の県内普及は②厚生病院の病棟老朽対策は。

答 ①（教育長）非認知能力向上が学力と相関するとの知見得た。倉吉西中が毎週子どもの状況を全教職員で共有し、不登校の激減、学力向上につなげた。それを市内の学校に広げるもの。自由進度学習試行も成果でている。県内に普及させる②厚生病院のあり方や病院間連携を協議する。



前田 伸一
議員



選挙区 鳥取市
会派 公明党

地方創生の加速化、外国人材活用、農福連携

問 ①若者や女性から選ばれる県民運動のスピードアップ②外国人材の活用と定着に向けた地元日本語学校による日本語教育の充実と生活面での支援強化③スマート農業を活用した農福連携事業の推進。

答 ①スピードを上げていく必要があり、令和の改選の県民会議を立ち上げた。男女協働未来創造本部を作り本気で取り組む②日本語学校が重要であり、どのように支えるか関係者と協議する③機械化や効率化による工夫により農福連携の分野にスマート農業の導入を進めたい。



前原 茂
議員



選挙区 米子市
会派 公明党

①災害時の対応強化 ②県内農業振興

問 ①県内避難所における国際基準であるスフィア基準（※3）について伺う②県西部の特産である白ネギとブロッコリーの出荷量が減少している。産地維持のための対策について伺う。

答 ①2月議会に24時間以内に避難所ヘトイレ、キッチン、ベッドをそろえていく「TKB24」を提案した。避難所環境の向上を目指していきたい②令和6年度に白ネギ、ブロッコリーの産地プログラムを作成した。とくに暑熱対策、コールドチェーン（※4）の在り方を関係者と検討する。



語堂 正範
議員



選挙区 東伯郡
会派 自由民主党

①農業若者会議の設置 ②北条湯原道路の延伸

問 農業生産1千億円を達成するためには、農業を担う後継者の意見を聞き議論する場が必要と考えるがどうか。

答 1千億円を本気で達成するためには、そういう人たちと政策の立案や執行をしていかなければいけない。若者会議を設置する。

問 大雪になると湯原ICから通行止めになることが多い円滑に移動できる整備として北条湯原道路と米子道を繋ぐ道が必要ではないか。

答 蒜山ICに向けてのネットワーク化等、改良の促進を岡山県と進めていきたい。



島谷 龍司
議員



選挙区 鳥取市
会派 自由民主党

障がい者への親亡き後の支援について

問 障がい者が親亡き後に安心して暮らすために当初予算に計上された地域生活サポート事業はどのようなものか。

答 グループホームの円滑な設置が進むよう県単独の支援措置を創設するとともに、地域での生活支援を行うセンター機能について、都市部では機能強化を、周辺部では連携を図りながら機能を維持する二つのモデル事業に取り組む。安心サポートファイルについては、親亡き後に残していきたい対象者の成長に応じた重点的な記載事項になるように改善を図っていく。

（※1）自由進度学習…児童生徒が自分で学習計画を立てるなどして、それぞれの進度で学んでいく学習方法。
（※2）非認知能力…知能検査や学力検査等で測定できない能力。意欲、忍耐力、協調性、自制心など。
（※3）スフィア基準…人道憲章と人道対応に関する最低基準の通称。紛争や災害の被害者が尊厳のある生活を送ることを目的とする。
（※4）コールドチェーン…生鮮食品や医薬品などを生産・輸送・消費の過程で途切れることなく低温に保つ物流方式。



鳥羽 喜一
議員

選挙区 倉吉市
会派 自由民主党

**「遥かな町へ」映画化
外郭団体の運用評価損**

問 谷口ジローさん原作「遥かな町へ」の待望の映画化が決まったが、どのような期待を寄せられるか。

答 世界中の人に見てもらえるような映画となるよう協力は惜しまない。大きな大輪の花を咲かせられるようにする。

問 外郭団体の中に数千万以上の大きな運用評価損を出している団体がある。県でガイドラインを設定し、一括運用を検討するべきでは。

答 ご指摘の通りの部分が多い。ガイドラインの設置や一括運用について関係機関と話し合いを始める。



玉木 裕一
議員

選挙区 鳥取市
会派 無所属

**異次元の少子化対策
出産お祝い金一千万**

問 人口減少問題に対する本気度を形にする。これまでのやり方を変えていく必要がある。一千万円の出産お祝い金は将来世代に向けた大きなメッセージで未来への投資。人口が増えれば需要や税収も増え経済も必ず成長。未来に夢と希望を描く事ができる。この政策を鳥取から国民運動に。楽しい日本を鳥取から創る。

答 次世代の事を考えるのは大賛成だが多分お金じゃないと思う。地方団体がやるべき事は社会サービスの提供。300億の捻出は県財政の1割。我々の能力を超えている。



山本 暁子
議員

選挙区 鳥取市
会派 自由民主党

**学びの多様化学校
森林づくりについて**

問 不登校対策の「学びの多様化学校」導入の可能性は。

答 (教育長) 制度として県立は難しい。市町村と議論をしっかりと進めていく。

問 シカの食害が原因の植生被害とそれに伴う土砂災害の危険性は。

答 対策の成果が出ている地域もある。災害防止のためにもシカの食害対策に本腰を入れるタイミングが来ている。

問 広葉樹や特用林産物も含めた県内循環消費型の森のデザインが必要。

答 それが理想的。特用林産物支援の在り方も検討する。



東田 義博
議員

選挙区 鳥取市
会派 自由民主党

**①鳥取道の事故防止
②津波対策**

問 ①鳥取自動車道のトンネル内での正面衝突防止対策の施設整備と県警察の取り組みについて伺う②津波から県民や来訪者を守る対策と「ぼうさいこくたい」開催誘致について伺う。

答 ①対向車線に出ない構造物の早期対策と注意喚起の電光掲示板の設置を国に求める(警察本部長) 広報啓発や取締など事故抑止策を推進する②津波観測体制やソフト対策に取り組む「ぼうさいこくたい」の誘致は意義があり国に要請する。(教育長) 子どもの命を守る真の防災教育を行う。



浜田 妙子
議員

選挙区 米子市
会派 民主とっとり

**①再生可能エネルギー
②療育支援③年収の壁**

問 ①第7次エネルギー基本計画では再エネ依存度4～5割。エネルギー政策の取組は②療育が必要な子の現場支援者研修の充実。家庭支援と居場所づくりを③身近な「年収の壁」無料相談窓口設置を。

答 ①福島原発事故以降、エネルギー生産・自給県を目指しメガソーラーやバイオ、風力も出来た。今後再エネと省エネを進め地球との共生でリーダーシップ発揮したい②現場や家庭支援プログラムを進めているが何が足りないのか聞き改善したい③国の方針が定まれば関係者と統一を図る。



安田 由毅
議員

選挙区 境港市
会派 自由民主党

**男女共同参画県民意識
調査について**

問 令和6年度県民意識調査で男女の社会的な役割意識が平成元年に比べてほぼ反転した。男女施策は次のフェーズへと進んでいく時代に移り変わったのではないか。

答 男性は外で働き女性は家庭を守るという考え方に賛成が3割、反対が7割と逆転した。意識改革が進むことで鳥取県での住みやすさ働きやすさにつながってくる。そこにある大きな壁を打ち破っていくために、ぜひ県民運動に育てていきたい。社会も根本から変化することがあると信じて施策を投入する。



中島 規夫
議員



選挙区 鳥取市
会 派 自由民主党

①高校授業料無償化 ②米の適正価格

問 ①高校授業料無償化の議論が進む一方で公立高校の定員割れが深刻化するのではとの懸念もあるが、どのように対処されるのか②生産者が安心して生産し、消費者も納得して消費できる農業政策を目指すよう国に提言すべき。

答 ①（教育長）公立ならではの人材の磨き上げ、魅力化を高めていくことが必要であり、今後の高校のあり方をしっかり検討していく②米の増産の方向に移ってきており、国に対しても要望する。現場とよく協議し、規模に応じた生産振興策を図っていく。



銀杏 泰利
議員



選挙区 鳥取市
会 派 公明党

陸の孤島を防ぐ対策 年収の壁対策

問 ①航空路線を堅固にする滑走路延長と、災害時の陸の孤島を防ぐ路線や便数の確保を②JRグループだけではローカル路線の維持管理は難しい。行政に関わる必要あり③年収の壁対策は中間層まで減税効果が及ぶように公明党案で予算を修正。効果は。

答 ①2500m化は搭乗者数50万人以上等が条件。路線の誘致や利用促進に努める②国、地域も協力し運行をサポートすることが重要③2～4万円の定額減税になり、働き控えに効果があり、生活者支援にもなる。



尾崎 薫
議員



選挙区 鳥取市
会 派 民主とっとり

短時間正職員 海外の学校との交流

問 ①短時間正職員の手当て、退職金の基準はどうか②週休3日制度の対象の活動とは？③短時間会計年度職員にも住居手当支給は出来ないか④なじみの薄いアフリカ・南米等とのオンライン交流事業をやってはどうか。

答 ①若干調整はあるが同等の扱い。終身雇用も認められる②以前からの育児・介護に加え自治会・消防団・NPO・祭り等にも対象を拡大③法律上は不可だが世の中動いている。私たちなりに努力したい。④（教育長）体験が生徒を成長させる。ぜひ紹介をしたい。



浜田 一哉
議員



選挙区 境港市
会 派 自由民主党

水産業における諸課題 について

問 ①境漁港の冷凍・冷蔵施設的能力不足が課題である。建設に向け、第3セクターなどあらゆる可能性を検討していただきたい②県ではJブルークレジット（※6）を発行しているが、これは公的な排出量削減として扱われるべきでは。

答 ①スキーム作りが急がれる。県として積極的にプロジェクトに参画する②アラムの育成などのために仕組みを導入した。企業にとっても実質的なメリットがある。パブリックなクレジットとなるよう国に対して要望活動をする。



福浜 隆宏
議員



選挙区 鳥取市
会 派 無所属

令和の改新で花回廊 全庁挙げて磨き上げ

問 花回廊は開園26年経過し来園者半減。60代以上が過半数で10～20代はわずか8%。子どもや若者に刺さるテコ入れ必要。東アジア各国での昆虫ブームを機に、花や果樹と生き物の関係を学べるビオトープ化（※5）を。大手化粧品会社と提携しメインフラワーのユリを使った香水の開発を。指定管理者任せにせず全庁挙げて県立最大の観光施設を盛り上げる体制づくりを。

答 ビオトープ化、若者のトレンドを捉えた土産品開発等新年度早々に全庁的なPTを創設して体制強化を図る。



鹿島 功
議員



選挙区 西伯郡
会 派 自由民主党

倉吉農業高校へ和牛に 特化したコース設置を

問 和牛王国とっりの復活に向け、早期から和牛経営の知識を養い、全国一を目指す気概を持った後継者を育てるべきだ。県として高校に和牛コースの設置を取り組み、和牛甲子園出場に向かっては。

答 和牛飼育コースはないが、県が働きかけ繁殖和牛の優良賞を獲得されている。畜産試験場や農業大学校を含め、より専門技術者による和牛後継者育成の支援をしていく（教育長）農業後継者育成に和牛は非常に重要と考える。令和7年度予算で施設整備したい。

常任委員会活動

鳥取県議会には4つの常任委員会があり、定例会中の付託案件の審査に加え、閉会中も継続審査や現地調査、勉強会などの活動を行っています。

総務教育常任委員会



◎ 2月定例会審査結果（議案）

大阪・関西万博の本県展示ゾーンの設置を含む「令和7年度一般会計予算」のほか、採用の難しい特定の資格を要する保育士や看護師などの人材確保に向けて、全国初の短時間勤務正職員制度となる「特定の職の人材確保のための鳥取方式短時間勤務を導入する緊急措置に関する条例」の制定、現行の高等学校等就学支援金制度の対象外であった者への授業料補助制度の創設、高校生等がいる低所得者世帯を対象とする奨学給付金を拡充する「令和7年度一般会計補正予算」など23議案について、慎重に審査を行った結果、いずれも原案のとおり可決すべきものと決定した。

福祉生活病院常任委員会



◎ 2月定例会審査結果（議案・陳情）

医療・社会福祉・保育施設等の物価高騰対策支援、親亡き後を見据え障がい者が地域で安心して暮らせるための体制整備、闇バイトによる犯罪等の対策強化等を含む「令和7年度一般会計予算」の他、SNS等を介した犯罪やいじめ、生成AIによる児童ポルノ等諸課題に対応し健全な育成環境形成を図る「鳥取県青少年健全育成条例」改正、現行高等学校等就学支援金制度の対象外であった者への授業料支援創設に対応する「令和7年度一般会計補正予算」など25議案について慎重に審議をした結果、いずれの議案も原案のとおり可決すべきものと決定した。また、新規提出の陳情1件を審査し不採択と決定した。

農林水産商工常任委員会



空き店舗を利用したスタートアップ支援を視察（沖縄県）

◎ 2月定例会審査結果（議案・陳情）

米増産、次期高能力種雄牛造成のための取組や、激動化する国際経済環境に対応する事業者への支援、持続的な賃上げに向けた価格適正化及び生産性向上への支援等、新年度予算など17件の議案の審議を行い、いずれも原案どおり可決すべきものと決定した。また、新規提出の陳情1件を審査し、不採択と決定した。

◎ 県外調査（2/5～7：沖縄県）

一昨年から同県で販売される星空舞の状況について、更なる販路拡大の可能性を現地関係者と意見交換するとともに、商店街で増加する空き店舗を利用したスタートアップ支援の状況などについて調査した。

地域県土警察常任委員会



吉野ヶ里歴史公園の発掘現場を視察（佐賀県）

◎ 2月定例会審査結果（議案）

若者や女性からも選ばれる地域の魅力や職場づくりをはじめ、3月末開館の県立美術館や4月からの万博開催を契機とした誘客促進、地域高規格道路の整備等を含む「令和7年度鳥取県一般会計予算」など17議案について慎重に審査を行い、いずれも原案のとおり可決または承認すべきものと決定した。

◎ 県外調査（2/5～7：佐賀県・熊本県）

佐賀県ではバリアフリーツーリズムの取組、国スポ・全障スポの開催結果、吉野ヶ里歴史公園での文化財保護等について、熊本県では災害対応拠点の整備、横断歩道での一時停止啓発などについて、調査・意見交換を行った。

令和7年2月定例会付議案等議決結果（全会一致で議決された議案）

議案等 番号	件 名	議決 結果
②	令和7年度鳥取県用品調達等集中管理事業特別会計予算	可決
③	令和7年度鳥取県公債管理特別会計予算	可決
④	令和7年度鳥取県給与集中管理特別会計予算	可決
⑥	令和7年度鳥取県母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計予算	可決
⑦	令和7年度鳥取県中小企業近代化資金助成事業特別会計予算	可決
⑧	令和7年度鳥取県就農支援資金貸付事業特別会計予算	可決
⑨	令和7年度鳥取県林業・木材産業改善資金助成事業特別会計予算	可決
⑩	令和7年度鳥取県県営林事業特別会計予算	可決
⑪	令和7年度鳥取県県営境港水産施設事業特別会計予算	可決
⑫	令和7年度鳥取県沿岸漁業改善資金助成事業特別会計予算	可決
⑬	令和7年度鳥取県港湾整備事業特別会計予算	可決
⑭	令和7年度鳥取県収入証紙特別会計予算	可決
⑮	令和7年度鳥取県県立学校農業実習特別会計予算	可決
⑯	令和7年度鳥取県育英奨学事業特別会計予算	可決
⑰	令和7年度鳥取県営電気事業会計予算	可決
⑳	令和7年度鳥取県営埋立事業会計予算	可決
㉑	令和7年度鳥取県営病院事業会計予算	可決
㉒	令和6年度鳥取県一般会計補正予算（第6号）	可決
㉓	令和6年度鳥取県公債管理特別会計補正予算（第1号）	可決
㉔	令和6年度鳥取県国民健康保険運営事業特別会計補正予算（第1号）	可決
㉕	令和6年度鳥取県中小企業近代化資金助成事業特別会計補正予算（第1号）	可決
㉖	令和6年度鳥取県県営林事業特別会計補正予算（第1号）	可決
㉗	令和6年度鳥取県県営境港水産施設事業特別会計補正予算（第1号）	可決
㉘	令和6年度鳥取県港湾整備事業特別会計補正予算（第1号）	可決
㉙	令和6年度鳥取県育英奨学事業特別会計補正予算（第1号）	可決
㉚	令和6年度鳥取県営病院事業会計補正予算（第3号）	可決
㉛	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理等に関する条例	可決
㉜	鳥取県一時保護施設に関する条例	可決
㉝	鳥取県立博物館の設置及び管理に関する条例等の一部を改正する条例	可決
㉞	鳥取県特定個人情報の利用及び提供に関する条例及び鳥取県住民基本台帳法施行条例の一部を改正する条例	可決
㉟	鳥取県営鳥取空港の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	可決
㊱	鳥取県附属機関条例の一部を改正する条例	可決
㊲	鳥取県知事の権限に属する事務の処理の特例に関する条例の一部を改正する条例	可決
㊳	鳥取県保護施設及び授産施設に関する条例等の一部を改正する条例	可決
㊴	鳥取県民生委員定数条例の一部を改正する条例	可決
㊵	鳥取県建築基準法施行条例の一部を改正する条例	可決
㊶	鳥取県福祉のまちづくり条例の一部を改正する条例	可決
㊷	貸付金の返還に係る債務の免除に関する条例の一部を改正する条例	可決
㊸	鳥取県手数料徴収条例の一部を改正する条例	可決
㊹	鳥取県警察手数料条例の一部を改正する条例	可決
㊺	鳥取県淀江産業廃棄物処理施設計画地地下水等調査会条例を廃止する条例	可決
㊻	工事請負契約（鳥取県地域衛星通信ネットワーク等更新工事）の締結について	可決

議案等 番号	件 名	議決 結果
㊼	財産を無償で貸し付けること（童謡館・鳥取世界おもちゃ館用地）について	可決
㊽	財産を無償で貸し付けること（米子市宮武道館用地）について	可決
㊾	財産を無償で貸し付けること（（元）鳥取県営米子屋内プールの建物及び用地）について	可決
㊿	財産を無償で貸し付けること（放牧場用地）について	可決
①	財産を無償で貸し付けること（境港昭和地区埠頭用地）について	可決
②	財産を無償で貸し付けること（鳥取東高等学校進入路）について	可決
③	財産を無償で譲渡すること（円護寺川廃川敷地）について	可決
④	権利の放棄について	可決
⑤	県道の路線の変更について	可決
⑥	県営土地改良事業等の施行に伴う市町村負担金についての議決の一部変更について	可決
⑦	包括外部監査契約の締結について	可決
⑧	専決処分の承認について	承認
⑨	特定の職の人材確保のための鳥取方式短時間勤務を導入する緊急措置に関する条例	可決
⑩	鳥取県税条例の一部を改正する条例	可決
⑪	職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	可決
⑫	職員の旅費等に関する条例等の一部を改正する条例	可決
⑬	職員の勤務時間、休暇等に関する条例等の一部を改正する条例	可決
⑭	鳥取県青少年健全育成条例の一部を改正する条例	可決
⑮	鳥取県病院局企業職員定数条例の一部を改正する条例	可決
⑯	令和7年度鳥取県一般会計補正予算（第1号）	可決
⑰	鳥取県教育委員会委員の任命について	同意
⑱	鳥取県収用委員会委員の任命について	同意
⑲	鳥取県収用委員会委員の任命について	同意
㉑	鳥取海区漁業調整委員会委員の任命について	同意
㉒	鳥取海区漁業調整委員会委員の任命について	同意
㉓	鳥取海区漁業調整委員会委員の任命について	同意
㉔	鳥取海区漁業調整委員会委員の任命について	同意
㉕	鳥取海区漁業調整委員会委員の任命について	同意
㉖	鳥取海区漁業調整委員会委員の任命について	同意
㉗	鳥取海区漁業調整委員会委員の任命について	同意
㉘	鳥取海区漁業調整委員会委員の任命について	同意
㉙	鳥取海区漁業調整委員会委員の任命について	同意
㉚	鳥取海区漁業調整委員会委員の任命について	同意
㉛	鳥取海区漁業調整委員会委員の任命について	同意
㉜	鳥取海区漁業調整委員会委員の任命について	同意
㉝	鳥取県男女共同参画推進員の任命について	同意
㉞	鳥取県男女共同参画推進員の任命について	同意
㉟	鳥取県男女共同参画推進員の任命について	同意
㊱	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例	可決
㊲	鳥取県議会委員会条例の一部を改正する条例	可決
㊳	鳥取県議会個人情報保護条例の一部を改正する条例	可決
㊴	鳥取県議会会議規則の一部を改正する規則	可決
㊵	東京一極集中の是正に向けた抜本的な改善策を求める意見書	可決

自由民主党											民主とっとり					公明党			無所属							賛成者数	反対者数	表決者数	議決結果	
広谷直樹	島谷龍司	斉木正一	福田俊史	内田博長	浜田一哉	鹿島功	安田由毅	語堂正範	野坂道明	浜崎晋一	村上泰二郎	坂野経三郎	浜田妙子	尾崎薫	興治英夫	伊藤保	前田伸一	前原茂	銀杏泰利	玉木裕一	前住孝行	西村弥子	山川智帆	松田正	福浜隆宏					市谷知子
議案に対する賛否																														
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	32	1	33	可決
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	32	1	33	可決
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	32	1	33	可決
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	32	1	33	可決
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	32	1	33	可決
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	32	1	33	可決
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	32	1	33	可決
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	32	1	33	可決
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	×	○	○	×	28	5	33	可決
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	32	1	33	可決
×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	議	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	棄	○	×	×	○	10	22	32	否決
×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	○	6	27	33	否決
委員長報告に対する賛否 ※請願・陳情への賛否ではありません																														
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	32	1	33	不採択
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×	23	10	33	不採択
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	32	1	33	不採択

議決結果…議案は「可決」「否決」「同意」「承認」「認定」等の区分による。

…請願・陳情は「採択」「趣旨採択」「研究留保」「不採択」の区分による。

※（措置済）と記載があるものは、国又は執行部等において措置済みのため願意が概ね実現されており、議会として重ねて措置を講じる必要がないことを理由とするもの。

令和7年2月定例会付議案等議決結果

賛否が分かれた議案及び否決された議案

請願・陳情の詳しい結果はこちらからご覧いただけます →



自由民主党

東田 入江 河上 鳥羽 山本 川部 中島
義博 誠 定弘 喜一 暁子 洋 規夫

議案等番号	件 名						
①	令和7年度鳥取県一般会計予算	○	○	○	○	○	○
⑤	令和7年度鳥取県国民健康保険運営事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○
⑪	令和7年度鳥取県天神川流域下水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○
⑬	令和7年度鳥取県営工業用水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○
⑮	関西広域連合規約の変更に関する協議について	○	○	○	○	○	○
⑰	天神川流域下水道の管理に要する費用について関係市町が負担すべき金額を定めることについての議決の一部変更について	○	○	○	○	○	○
⑲	鳥取県職員定数条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○
⑳	鳥取県行政組織条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○
㉑	鳥取県議会議員の定数並びに選挙区及び各選挙区において選挙すべき議員の数を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○
㉒	鳥取県議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○
㉓	高額療養費について今後も自己負担を引き上げないことを求める意見書	×	×	×	×	×	×
㉔	高額療養費制度の自己負担引き上げの撤回を求める意見書	×	×	×	×	×	×
議案等番号	件 名	委員長報告					
陳情7年-1	「最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情	不採択	○	○	○	○	○
陳情7年-2	国に対し「原発依存度の低減」を求める意見書を提出することを求める陳情	不採択	○	○	○	○	○
陳情7年-3	操縦士の飲酒防止など航空安全の推進を求める意見書の提出について	不採択	○	○	○	○	○

【凡例】 議案等番号…○数字は知事提出議案、●数字は議員提出議案
賛否欄…「○」賛成、「×」反対、「議」議長、「棄」棄権。
※請願・陳情は、委員長報告に対して、賛成であれば「○」、反対であれば「×」と記載した。

議員定数の見直し

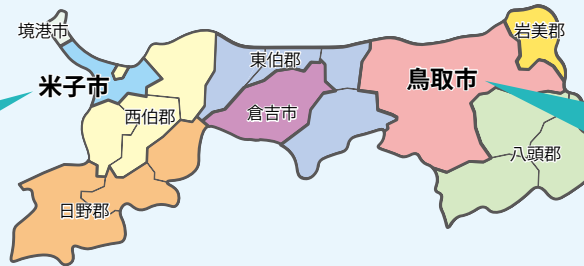
議員定数35人から33人へ削減する条例改正を
令和7年2月定例会で可決しました

鳥取県議会では、2年後に行われる次の県議会議員選挙から、議員数を現行の35人から33人とし、鳥取市・米子市の両選挙区から1人ずつ削減することとしました。

この見直しに当たっては、令和5年6月に特別委員会を設置し、慎重に議論を重ねてきましたが、本県の人口減少が一層進む状況を踏まえ、公職選挙法の特例規定を適用した上で議員数を削減する方針を決定し、その条例の改正案を令和7年2月定例会で可決しました。

本県は、現状でも都道府県で最も議員数の少ない議会ではありますが、議員数が更に削減となっても、引き続き県民の皆さんの声を県政に届け、県議会に期待される役割を果たして参ります。

米子市選挙区
9人→8人



鳥取市選挙区
12人→11人

議会中継について

鳥取県議会では、本会議、常任委員会、特別委員会等をインターネットで配信（ライブ・録画）しています！



こちらからアクセス！



(<https://www.kensakusystem.jp/tottori-vod/index.html>)



ライブ中継はこちらから

過去の中継はこちらから
※会議録掲載まで公開

information 県議会からのお知らせ

6月定例会の日程案

期 日	日 程
6月9日(月)	本 会 議(開会・提案理由説明)
10日(火)	常任委員会
11日(水)	本 会 議(代表質問)
13日(金)	本 会 議(一般質問・質疑)
16日(月)	
18日(水)	
19日(木)	
23日(月)	
24日(火)	常任委員会
26日(木)	特別委員会
27日(金)	本 会 議(採決・閉会)
30日(月)	

※ 日程は変更の可能性があります。
※ 午前10時開始の予定です。

パソコン・スマートフォンでご覧いただけます

本会議、常任委員会、特別委員会などの生中継と録画中継のインターネット放送は、パソコン・スマートフォンからご覧いただけます。

また、本会議はケーブルテレビでもご覧いただけます。

鳥取県議会ホームページは
こちらから→



あ と が き

この2年、広報委員会は野坂副議長を委員長に県議6名、議会事務局職員2名が担当しました。

一読でご理解いただける文面づくりと議場での熱き濃い議論の一端が届くように苦心しました。

次号からは新メンバーが担当します。多謝。

(広報委員F)

発行日／令和7(2025)年6月1日

編集・発行／鳥取県議会 〒680-8570 鳥取市東町1丁目220

☎0857-26-7460 FAX0857-26-7461 e-mail : gikaisoumu@pref.tottori.lg.jp